

阪和興業 中期経営計画の進捗状況

## (1) 定量目標に対する実績

計 画 期 間		2016年度から2019年度						(ご参考)	
		2016年度	2017年度	2018年度		2019年度	2020年度		
				(実績)	(実績)			(目標)	第 1 四半期 (実績) (進捗率)
業 績 目 標	売上高 (億円)	15,140	17,911	20,000	<b>4,974</b>	24.9%	21,000	22,000	
	経 常 利 益 (億円)	① STEADY	191	201	210	<b>45</b>	21.7%	220	230
		② SPEEDY	31	58	60	<b>15</b>	25.8%	70	80
		小 計	222	260	270	<b>61</b>	22.6%	290	310
		③ STRATEGIC	7	△ 6	30	<b>△ 6</b>	-	60	70
		調整額	0	0	-	<b>0</b>	-	-	-
連結財務諸表計上額	229	255	300	<b>54</b>	18.2%	350	380		
新規ユーザー獲得社数 ( 累 計 )		697	601	701	<b>213</b>	30.4%	(701)		
		(697)	(1,298)		<b>(1,511)</b>	(56.0%)	2,700		
投資総額 (億円) ( 累 計 )		112	291		<b>36</b>				
		(112)	(403)		<b>(439)</b>	(87.8%)	500		

※① STEADY… 既存の事業基盤からの収益

(当社子会社及び③に該当する戦略的投資先からの受取配当金を控除した当社単体の経常利益)

② SPEEDY… 投資したグループ会社からの収益

(当社連結子会社の経常利益、非連結子会社からの受取配当金及び持分法投資損益 (③に該当する戦略的投資対象会社分を除く))

③ STRATEGIC… 戦略的投資からの追加収益

(金属資源を中心とする戦略的投資先からの持分法投資損益及び受取配当金)

## (2) 進捗状況

①STEADY 及び②SPEEDY からなる当社グループの経常利益の通期予想に対する進捗率は22.6%となったものの、外貨建債務の時価評価による為替差損の影響を除けば、概ね計画通りに推移しています。しかしながら資源投資からの収益である③STRATEGIC については、当第1四半期連結累計期間における利益への貢献には至りませんでした。3つの「S」それぞれの状況は、以下の通りです。

① STEADYについては、概ね堅調な需要推移の中、鋼材や各種金属類を中心に販売収益を伸ばしましたが、経常利益は円安の進行による為替差損の発生などにより、標準進捗率(25%)を若干下回りました。

② SPEEDYについては、国内・海外とも連結子会社及び持分法適用会社の業績は概ね想定線上で堅調に推移し、標準進捗率での推移となりました。

③ STRATEGICについては、持分法適用会社であるSAMANCOR CHROME HOLDINGS PROPRIETARY LIMITED(以下、SAMANCOR社)の業績が、過年度に買収した連結子会社の稼働準備に時間を要しており費用が先行している他、当第1四半期連結累計期間でのフェロクロム価格の下落や南アフリカランドの為替変動の影響により、期初想定から大きく下振れました。SAMANCOR社株式に対するのれんなどの償却処理も含めると約6億円のマイナスとなり、標準進捗率に対し大きく未達となりました。

(注) 上記の定量目標数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は様々な要因によって目標数値と異なる場合があります。特に③STRATEGIC については、今後の資源価格や為替などの動向により、変動する可能性があります。

以上